

(様式第2号)

病院薬剤師卒後研修プログラム概要版

病院名 医療法人社団善仁会小山記念病院

所在地 茨城県鹿嶋市厨五丁目1番地2

1 プログラムの名称

小山記念病院薬剤師卒後研修プログラム

2 プログラムの目的と特色

臨床薬剤師としての視点を「チーム医療」に反映する能力を養成するため、3～5年目を目安に、当院で取得可能な専門資格に関する業務に従事しながら指導者の下で研修し、資格取得を目指す。研修後は各領域のスペシャリストとして臨床業務に従事しつつ、後進の薬剤師を育成する。

3 研修プログラム責任者

小山記念病院薬剤部長が研修プログラム責任者となる。研修プログラム責任者は、研修病院の研修関連実務を統括し、研修プログラムの企画・立案及び実施の管理並びに研修者に対する助言、指導その他の援助を行うと共に、以下の①②を担う。

①研修プログラムの原案を作成する。

②研修者が研修の目標を達成できるよう、全研修期間を通じて研修者の指導を行うとともに、研修プログラムの調整を行う。

また、研修期間の終了に際し、院長に対して、指導薬剤師とともに 研修者の研修目標の達成状況を報告する。

4 就労環境

(1)勤務病院の宿舎	あり(月額自己負担 1.5 万円)
(2)薬剤師賠償保険	病院で加入する
(3)学会、研究会等への参加	可(原則、交通費等全額支給)
(4)勤務病院で指導薬剤師が取得している専門・認定薬剤師の資格	日本医療薬学会医療薬学指導薬剤師 日病薬病院薬学認定薬剤師
(5)取得可能専門・認定薬剤師(括弧内の数字は在籍取得者数) ★勤務病院 ☆協力病院	★日病薬病院薬学認定薬剤師(9) ★医療薬学指導(専門)薬剤師(1) ★薬物療法専門薬剤師 ★がん専門薬剤師 ★がん薬物療法(専門)認定薬剤師(1) ★外来がん治療(専門)認定薬剤師(3) ★感染制御認定薬剤師(2) ★抗菌化学療法認定薬剤師(2) ★緩和薬物療法認定薬剤師(1)

(様式第2号)

	★糖尿病療法指導士(2) ☆NST 専門療法士(2) ☆妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師(1)
(6)協力病院・協力施設 ※過去実績、派遣予定に基づいて記載	NST 専門療法士;茨城県立中央病院 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師;虎の門病院 がん薬物療法認定薬剤師;国立がん研究センター東病院 緩和薬物療法専門薬剤師;仙台医療センター 在宅訪問(在宅医療・介護);株式会社ジェイピー、株式会社アシスト
(7)協力病院の宿舎	小山記念病院で負担
(8)協力病院での給与	小山記念病院で負担

(参考;薬剤部員集合写真)



5 指導体制

プログラムが円滑に実施されるように、指導薬剤師が指導の上、研修者の研修到達度を評価する。尚、指導薬剤師は指導歴5年以上、勤務歴5年以上の者が担うものとし、日病薬病院薬学認定薬剤師の認定を受けることを必須とする。

(様式第2号)

6 プログラムの計画

1年目	調剤業務、DI、医薬品の供給・管理業務、医薬品情報管理業務、無菌調剤業務等、病院薬剤師としての基本的な業務に従事する
2年目	病棟業務に従事する
3年目	日病薬病院薬学認定薬剤師の認定を取得する
4年目	自身の興味領域を見つけ、当該領域の業務に従事する
5年目	上記の興味領域に関する資格要件を満たす
6年目	専門資格取得後、当該領域のチーム活動に専任従事等する
7年目	臨床研究(学会発表、論文投稿)を目指す
8年目から	自身が専門領域に従事しつつ、後進の育成にも携わる